

議会だより



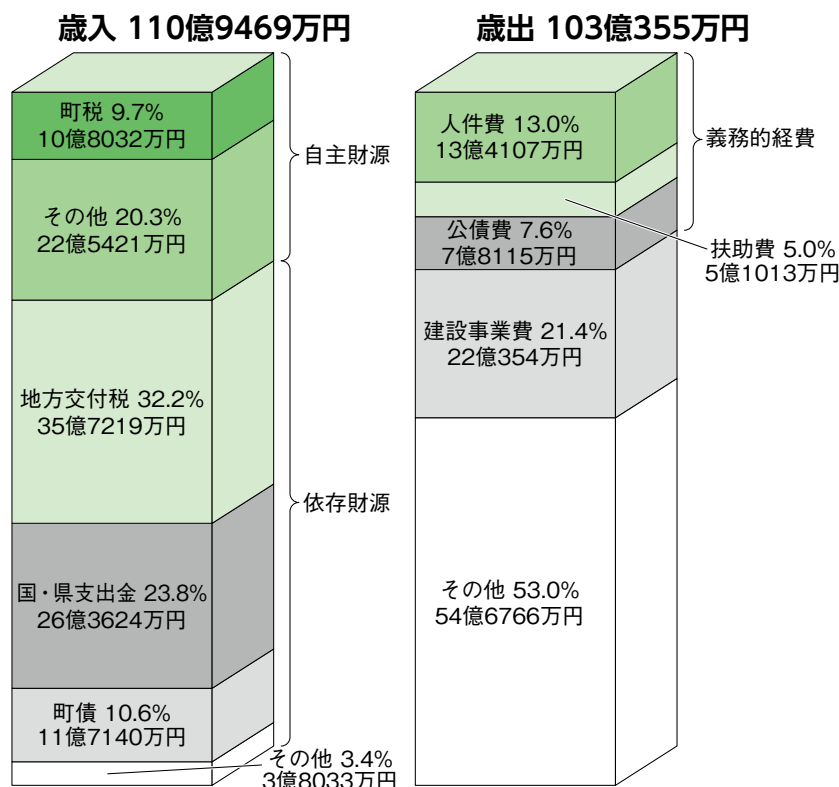
一般質問(地方創生事業などを質す)	10
令和4年度 予算・政策要望書提出	19
モニターアンケートにお答えします	20
サポーター政策提言(第5次)	22
新しい町づくりへ 私の提案	23

傍聴者も増えてきた本会議

発行／長野県飯網町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和3年9月30日現在 人口10,706人(98.4%)／男5,267人(98.7%)・女5,439人(98.2%)
世帯4,203(99.6%) ※うち外国人世帯29(131.8%) ()内は前年比率

令和2年度一般・特別会計決算を認定 町税は減 地方交付税は増加



● 9月定例会は1日から24日までの24日間の日程で開催された。

● 令和2年度一般・特別会計の決算、3年度補正予算など町からの提出議案は、報告2件、条例1件、決算の認定が10件、補正予算6件、その他2件、21件すべて原案どおり認定、可決した。

● 発議6件可決。請願4件の内4件採択、陳情3件の内1件採択、2件継続審査とした。

※提出議案の数字を使用しているため「いづな通信」とは合致しない

<用語解説>

自主財源＝自治体が自主的に収入する財源で、この財源の多寡が、行政活動の自主性と安定性を確保しているかどうかの尺度となります。

依存財源＝国、県などにより定められた額が交付されたり、割り当てられる財源です。

義務的経費＝人件費、扶助費、公債費。

特別会計決算 令和2(2020)年度決算総括表 (単位:千円)

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
からまつの丘地区 污水処理場管理事業		2,441	1,877	564
訪問看護ステーション		55,010	43,099	11,911
国民健康保険事業		1,342,842	1,291,730	51,112
後期高齢者医療		161,939	161,595	344
介護保険事業		1,246,763	1,242,431	4,332
住宅地造成事業		4,589	57	4,532
特別会計合計		2,813,584	2,740,789	72,795

賛成討論―渡邊千賀雄
憲法9条を守り、福祉増進を図り、人口減問題、農業振興などに取り組んできた。安心して暮らせる町、活力ある町づくりを進め、計画に沿った財政運営を求めます。

令和2年度飯綱町一般会計
歳入歳出決算の認定について

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計
決算審査報告書（抜粋）
 代表監査委員 山本孝利

一般会計は総額110億円余という未曾有の決算額となったが、予算の執行は手堅く処理され、7億円余の剰余金を生みだし、財政基盤の強化となった。

予算が膨らんだのは、待望の庁舎の新築とコロナ対策のため問題はない。

特別会計・企業会計も病院会計を除き全て黒字会計で、しかも一般会計からの繰入が減少するなど好調な決算。病院会計はコロナの影響で業績が低迷したが、国や飯綱町の支援もあり2300万円の赤字にとどまった。

新庁舎の着工により一般会計での町債の発行が増加、残高が4億円増加して、76億円余となったが、低金利により利息の負担は軽くなっている。その他の企業会計での町債の残高は順調に返済が進み6億円減少。残高63億円となり、一般会計、

企業会計を合わせた合計では2億円余り減少し、140億円余となった。

上水道事業は現状順調だが、設備老朽化への対策は重荷である。

下水道事業は企業会計への移行で経営実態が明らかになったが、黒字経営には遠く、企業債の返済負担が重く、一般会計への依存体制は続く。

病院事業は当面コロナ対策に忙殺されるが、早く通常に戻ることが望まれる。

当面の喫緊の課題は人口対策であるが、有効な対策の実施が必要である。また、町の基幹産業である農業の所得低迷が続いており、打開策が必要である。

年度内にコロナ関連の補助金において飯綱町の歳入に欠陥を生じたことは誠に遺憾である。綱紀粛正を要請する。

定例会

賛否結果

令和3年度 9月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	清水満	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	青山弘	大川憲明
		飯綱町福祉医療費給付金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
令和2年度飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町住宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
令和3年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願	採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級のさらなる前進」を求める請願	採択	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
緊急支援について(要望)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
凍霜害及び褐斑病被害対策を求める要望書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※採択された請願・陳情は、関係機関に意見書を提出しました。

地方創生推進交付金事業

～主な事業実績～

1. 世界に誇る力強い産業形成事業 1億8575万円

(国庫支出金6570万円、地方債2600万円、一般財源9332万円 他)

《農業所得の向上、新規就農者の獲得、耕作放棄地の減少等を目標に事業展開》

- (1) 三本松農業拠点施設整備・運営事業
 - ・加工施設建設工事／工事監理業務／備品購入／試行管理運営業務
 - ・加工施設活用に向けた機能性食品開発等の研究業務
 - ・いづなマルシェむーちゃん施設整備／エリア土地借地料
 - ・直売組織統合に係る各種調整業務
- (2) ICT 農業の推進関係事業
- (3) 農業塾「信州飯綱りんご学校」運営業務
- (4) 信州大学との共同研究による四季成いちごの栽培実証実験事業
- (5) 6次産業化推進体制コーディネート業務
- (6) 農産物等のPR等に関する取組関連事業
 - ・ECサイト「みつどんマルシェ」の管理運営業務
 - ・いづなりんごフェア支援業務
 - ・農産物特産品ブランド化支援／新規販路開発支援業務
- (7) (有)飯綱町ふるさと振興公社への出資金



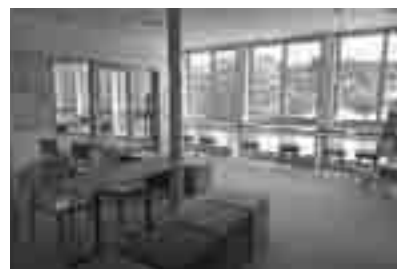
▲三本松農産物加工施設

2. もっと自分らしく輝くi(アイ)ママ事業 8167万円

(国庫支出金3765万円、一般財源4402万円)

《安心して働きながら子育てができる「日本一女性が住みたくなる町」をめざし、事業展開》

- (1) ワークセンター(iワーク)を拠点とした事業
 - ・ワークセンター管理運営委託
 - ・iママフェスタの開催
 - ・いづなRPA^{*}女子育成プロジェクト
 - ※RPA…定型的なデータ入力などの事務作業をコンピュータを使って行わせる技術
 - ・二拠点移住コミュニティプロジェクト
- (2) 大学連携プロジェクト
 - ・わくわく子育て講座の開催



▲iワークコミュニティスペース

3. しごとの創業・交流拠点整備事業 4756万円

(国庫支出金1172万円、一般財源3584万円)

《しごとを通じて交流できる場を創設し、起業や雇用の地方への流れを促すことを目的に事業展開》

- (1) しごとの創業・交流拠点整備事業業務委託
 - ・まちづくり会社「(株)カンマッセいいづな」の業務支援
 - ・起業体験スクール（北部高校生 17 名参加 全 8 回）の実施
 - ・いいづな事業チャレンジの企画・運営
（事業発表者 6 名、観覧者 83 名）
- (2) 情報発信・町民交流・移住サポートセンター「Z^{スク}Q」管理運営業務
 - ・商店街の活性化・移住者支援・イベント企画
- (3) 移住体験用住宅管理・空き家状況調査等業務



▲いいづなコネクT EAST
(旧三水第二小)

4. 住み慣れた地域に住み続けられる町形成事業 1469万円

(国庫支出金707万円、一般財源762万円)

《交通手段の確保、生活サービス機能の集約、地域コミュニティの形成の促進を目標に事業展開》

- (1) 地域公共交通計画推進支援業務
- (2) 地域間拠点バス運行事業
- (3) iバス停留所製作委託業務
- (4) 集落創生事業



▲iバス停留所

5. いいづな「いきがい創造」プロジェクト事業 1億5798万円

(国庫支出金8019万円、地方債4500万円、一般財源3279万円)

《誰もが生涯にわたって元気に楽しく活躍できる町の実現を目標に事業展開》

- (1) 旧牟礼西小学校跡拠点施設整備実施設計業務・監理業務
- (2) ヘルスプログラム・ツーリズム等企画・開発・運営業務
- (3) 地方創生関連事業に係る各種支援業務
 - ・「(株)カンマッセいいづな」への支援・いいづなコネクT管理運営基本計画の策定
 - ・ウェブサイト「いいいいいいづな」管理運営業務
- (4) 都市・農村交流推進業務



▲いいづなコネクT WEST
(旧牟礼西小)

令和2年度決算徹底チェック

町のお金は適正・効果的に使われたか

ふるさと納税返礼品 クレーム防止は

質問 クレームが増える中、事業者には伝えていくか。

答弁 事業者へは伝えていく。

選果基準表を統一し出荷時はカンマツセイいづなで検品している。

災害時の自主防災組織

質問 100%を目指し、地区ごとの防災組織設置基準の見直しとは。

答弁 組織の無い行政区へ見直しの依頼。自警団員のケガは公務災害補償対象だが、水害はならない。自治保険の対象となるように設置基準の見直しを進める。

合併特例交付金は

質問 充当事業は新庁舎建設事業のみ。集会施設等地域からの要望は。

答弁 平成22年頃は整備事業の補助の財源に充当した。現在要望は、集会施設

整備事業やコミュニティ助成事業で対応している。

一般競争入札内訳は

質問 一般競争入札は6件。指名競争入札が67件だが、町内外の受注事業者は。

答弁 5千万円以上の工事入札参加事業者数は。

質問 一般競争入札、町内1件、町外5件。指名競争入札、町内38件、町外29件。5千万円以上の参加資格は工事種別により異なる。町内外に平等に参加を呼び掛ける。

集落創生事業推進へ

質問 住民だけでは良いアイデアが出ない。町のアプローチは。

答弁 広報紙でのPR、区長組長会で周知。自主的な事業であり、女性や若者が地域について真剣に考える良いきっかけになっている。

農地情報データとは

質問 業者に210万7千円で委託しなければならぬのか。

答弁 農地パトロール結果や移動に関するデータの更新業務。今後は単年度分の更新だけで費用は少なくなる。地図データの入力に委託業者しかできない。

農産物支援の成果

質問 特産品ブランド化支援、新規販路開発支援業務は。

答弁 通信販売サイトへの新規販路の開拓。

都内レストラン等でりんごを扱ってもらう機会が増え、約2・5tを出荷した。プロモーションによる知名度の向上の効果もあり今後大きな商流構築やブランド強化につながる。

「飯綱の里ブランドづくり事業」農畜産物

付加価値を推進しているが、推奨品制度のメリットは。

答弁 町として新たに外に向け発信する一つの手段である。品種を多くし、観光の一部として進めていく。



▶ブランド化が期待される飯綱産りんご

新規就農者現状は

質問 新規就農者の把握は毎年しているか。

答弁 国の農業次世代人材投資資金の交付を受けた者の数。新規就農や後継就農という定義・概念等あるので当該年度の就農者全て厳密に把握はできない。

河川水質向上へ取組は

質問 大腸菌の数値が高いのは家畜排水か。

答弁 農業肥料も河川へ流れると大腸菌群数に反映される。家畜排水での汚染とは言い切れない。

質問 人為的な排水があったら監視や行政指導は。

答弁 令和2年度の実績はない。対象農家へは指導する。

太陽光発電工事確認は

質問 開発行為条例に基づき許可しているが、災害対応や設置の際の確認は。

答弁 地元意見を参考に許可。環境上適さない場合は業者に指摘し、指導している。町の条例には罰則規定がなく、踏み込んだ指導ができない。国、県が規制を強めたらそれに準じる。業者の営業活動を否定することはできない。

意見 行政のできる範囲で業者へ監視と指導を。

生活管理指導短期 宿泊所とは

質問 保護が必要という情報また、保護への経過は。

答弁 包括支援センターは高齢者に限らず障害者等の虐待情報も入る。保護に至ることもある。

学級編成検討段階では

質問 人口推計では、5〜10年後には、今のクラス数は維持できない。1校に統合か小中一貫校か内部検討はしているか。

答弁 今は転入生があり、町も人口増対策を進めて状況を窺っている。10年先を見据えて内部検討を考える。

意見 10代や30代は大幅な転入超過になっている。飯綱町で子どもを育ててみたいと思っている人が増えている。町の事業を町外に発信することが必要。

歴史ふれあい館 リニューアルは

質問 協議は進んでいるか。

決算審査

答弁 施設を改修という大規模なものではない。企画展や特別展の内容を展示物として残す。5年後の合併20周年を目標に、例えば「三水用水」の企画展を開催し、常設展示物として残していく。

コロナ対策は

質問 地域支え合いプラスワン消費促進事業があるが商品券配布事業97%
①飲食店応援チケット②宿泊応援事業の使用状況は。

答弁 ほぼ使われたと思われる。応援チケット事業2年度は2万枚印刷。販売数は1万2千670冊。63%になる。

2つの加工場の 今後は

質問 高齢化と使用料の減少があるが、若い世代の利活用を進めるため施設機能と環境整備検討と有るが。

答弁 施設の老朽化も含め現状の施設では限界が見えている。設備等に何かいい補助があれば活用し、新たな施設を検討していく。

どうなる、し尿処理施設

質問 北部施設組合費2千600万円だが、1割が、し尿処理施設を利用。老朽化により直すか、作り替えるか結論は。

答弁 大変な課題である。共同では経費がかかり過ぎる。現有の公共下水に運び込むのがベターか。令和6年頃までにはどう処理していくか、結論を出したい。

特別会計

どうなる病院再編・統合

質問 地域医療構想、新型コロナの影響は。

答弁 コロナ対応で棚上げ状態。令和2年度末から3年当初に書面会議や各種調査が行われている。2〜3年のうちに結論付けか。信越病院は移転新築に伴い病床数減の予定。飯綱病院は介護病床21床が制度廃止に伴い減少の見込みで、療養病床に転換するか検討問題である。

DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業は

質問 どの程度の規模か。

答弁 オンライン申請による各種証明書の発行等、事務の効率化を想定。町内では、三水用水の水門をスマホで開閉したり、河川にセンサーを付けて水位を監視するシステム、農業用ハウス内の温度、湿度を管理するシステムを農家へ導入支援を想定している。



▲地元のお店を応援しよう! 飯綱町商工会飲食店応援チケットとティークアウト&デリバリーのチラシ

三水地域 一部過疎に指定により 過疎地域を持続的に 発展させる計画を策定

常任委員会

飯綱町過疎地域持続的発展計画の策定
—可決—

基本方針

第2次町総合計画に準じ「あふれる自然、共に豊かな暮らし創生」

主な内容

過疎地域の持続的発展を目指すため、①地域社会を担う人材育成 ②地域経済の活性化 ③情報化 ④交通機能の確保及び向上 ⑤生活環境の整備 ⑥福祉の向上 ⑦医療の確保 ⑧教育環境の整備 ⑨集落の維持及び活性化 ⑩再生可能エネルギー利用の促進に係る事業計画を定めた。

計画期間

令和3年4月1日から8年3月31日までの5年間

工事請負契約の締結について
—可決—

工事名

道路メンテナンス事業

鳥居新橋

工事内容

当て板・部材交換、橋梁塗装、支承補修工事

契約金額

5500万円

相手方

村松建設株式会社代表
取締役 村松むつ代



▶メンテナンスが終了した鳥居新橋

補正予算

令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第4号)
—可決—

既定予算に5億8696万円を増額して、総額を89億7370万円とするもの。

主な歳入

- ・普通交付税 4億9475万円
- ・ふるさと応援寄付金 2億1921万円
- ・繰入金

▲2億6930万円
・繰越金 5665万円
・町債 6890万円
(臨時財政対策債)
▲1210万円

主な歳出

・ふるさと応援基金 7887万円

- ・ふるさと納税事業費 1億4034万円
- ・いろいろなコネクトWEST(旧牟礼西小)、パワリーハビリティ貸貸料ほか 175万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保 1622万円
- ・公債費(繰上償還) 2億1050万円

令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第5号)
—可決—

既定予算に2930万円を増額して、総額を90億300万円とするもの。

歳入

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 930万円
- ・ふるさと応援基金繰入金 2000万円

歳出

- ・帰省できない大学生への応援事業 150万円
- ・福祉灯油代(3万円×400件) 1240万円
- ・果樹振興事業費(災害果を蜜センサーにかけふるさと納税返礼品に1万箱) 2000万円
- ・予備費 ▲421万円

賛成討論―渡邊千賀雄

りんごの凍霜害被害等に対しての農家支援は、再生産の意欲にもなる。また寒さを前にしての福祉灯油の実施は、心温まる支援策であり賛成。



▲災害果をふるさと納税で

請願

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める請願書
—採択—

請願者 飯綱町教職員組合
執行委員長 土屋裕美

教育の機会均等とその水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元・拡充することを求めている。

地域高校の30人規模学級を求める請願
—採択—

請願者 長野県高等学校教職員組合北部分校
執行委員長 大日方有希

一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するため、地域高校の存続と30人規模学級の実現を求めている。

委員会でも不採択も
本会議で採択

国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願
—採択—

請願者 長野県高等学校教職員組合北部分校

執行委員長 大日方有希

国は、教育予算を増やして、「高等学校等就学支援金」の所得制限をやめ、「高校無償化」を復活することと、高校生に対する給付奨学金制度を確立することを求めている。

反対討論

青山弘

所得制限によって無償化の対象を絞りこむことで財源を捻出し、それを非課税世帯、低所得世帯への支援に活用することは理解できる。

賛成討論

渡邊 千賀雄

国際的に、日本は学級規模人数の少人数化が遅れている。国の教育予算がOECDの最低クラスに少ないことだ。国の責任で教育条件拡充に賛成。

荒川 詔夫

憲法では、世帯所得の多寡にかかわらず何人も教育を受ける権利の平等が明文化されている。よって、高校無償化の権利は保障されるべきだ。

伊藤 まゆみ

安心して学ぶ環境整備は、多様な人材育成の上でも国の務めだ。授業料は平等であるべきで所得の多い方は税として納めるべきである。

「国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる前進」を求める請願
—採択—

請願者 長野県高等学校教職員組合北部分校
執行委員長 大日方有希

国の責任で、小学校、中学校、高校の全てにおいて「20人学級を展望した少人数学級をさらに前進させることを求めている」。

反対討論

青山弘

文科大臣は35人学級を充実したものにし、5年間でしっかり検証し改善改革を進めていくと言っているのだから検証を待つべき。

中島 和子

学級において、多くの仲間との出会いは集団生活の礎。少人数よりも子ども最大の教育環境である教師との信頼関係を築く取組を。

賛成討論

目須田 修

少子化が進む中、教育現場の未来に期待して、よりきめ細かな教育を可能にするために、対応策としての『少人数学級』を前進させたい。

荒川 詔夫

昨今の家庭及び地域等での教育力低下の現状を踏まえると、穴埋めは学校に委ねられている。少人数学級編成実施は不可欠である。

伊藤 まゆみ

欧米では、少人数学級が実現しており、様々な工夫がされて、一人ひとりが大事にされる学習が行われている。保護者や現場の声を届けるのが議会の仕事だ。



▲コロナ流行前のにぎやかな運動会(牟礼小)

ポストコロナ、第2次飯綱町総合計画、 地方創生事業などを質す

原田 重美議員

ポストコロナを見据えた将来のまちづくりは

原田 幸長議員

- 1 台風災害における避難所運営のあり方は
- 2 災害時における聴覚障がい者への情報伝達は
- 3 AED設置を町内のコンビニに

石川 信雄議員

- 1 コロナ禍における事業者・生産者の救済を
- 2 窓口サービスのネットワーク化推進を

渡邊 千賀雄議員

- 1 過疎法対応で町ならではの考えは
- 2 盛土、土石流対策は
- 3 補聴器購入補助制度は

伊藤 まゆみ議員

- 1 生理の貧困への対応を
- 2 後期高齢者医療保険料の軽減の検討状況は
- 3 18歳以上の学生へ支援を
- 4 飯綱東高原の道路の安全確保を

瀧野 良枝議員

地方創生推進交付金事業の効果検証は

清水 均議員

第2次飯綱町総合計画に係る検証は

荒川 詔夫議員

- 1 町政執行のあり方と議会対応は
- 2 選挙関係について

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、[ホームページ](#)、[議事録](#)でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



議会の一般質問に初めて傍聴をさせていただきました。9月議会では、初日の午前中に、3名の方の質問を拝聴させていただきました。時節柄、新型コロナウイルス関連の質問が多かったと思います。その中で、ポストコロナを見据えた将来の町づくり、コロナ禍における事業者・生産者救済については突っ込んだ質疑応答がありました。その中で、飯綱町の将来について考えますと、まだまだ樂觀できる状況ではない中で、今後も議会が果たす役割は非常に重要かとも考えます。今後、町・議会・住民がベクトルを合わせ、三位一体となつて、誰もが住みたくなる町づくりを早急に創り上げていただきたいと思えますし、できることは協力しなければとも考えます。

傍聴席



渋沢 憲一さん
(倉井)

コロナ対策ほか、町政の発展を期待

今後は、より効率の良い議会運営を期待するとともに、町民の代弁者でもある多くの議員の質問・意見具申の機会がさらに増えることも期待します。引き続きコロナ対策を含め問題は山積みしていると思われませんが、町長をはじめ、町職員・議会議員の皆さまが先頭に立って旗振りをしてくれる事も期待し、明るい未来を目指し、全員参加で、ひとりでも多くの人の意見が反映された上で、更なる町政の発展を期待します。

ポストコロナ見据え

安心の生活環境づくりを

町長 SDGsに力を入れ 水道や病院の拡充進めたい



原田 重美議員



▲町の過疎計画はSDGsの目標を絡めて持続的発展を目指す

原田 ポストコロナ（あるいはウィズコロナ）で変化する社会を見据え、安心の生活を維持するためにSDGs（持続可能な開発目標）の理念実践など新たな将来像づくりが求められる。町長が描く町の姿は何か。

町長 第2次総合計画は後期5年の計画を12月議会に示す予定だが、人口増対策、デジタル化を推進し、重点施策は二つの水道事業の統合と将来的な施設の整備だ。

原田 過疎地域持続的発展計画が町総合計画やSDG

Sと絡めて提案されているが、国のSDGs未来都市に選定されると地方創生推進交付金などの財政支援が上乗せされる。選定を目指す考えはあるか。

町長 総合計画、過疎計画はSDGsなしでは考えられない。色々なアイデアを基本に進めたい。

企画課長 長野市が既に未来都市に選定され、市は連携中都市の中で対応するが、町としては未定だ。

医学生対象の奨学金を検討

原田 飯綱病院は、多面的な医療機能の強化で継続的な経営安定が求められる。

その一つとして一定

期間の飯綱病院勤務などを条件に医学生対象の貸付金支援制度など町独自の医師確保策を検討する考えはどうか。

町長 ドクターの確保は病院経営の大きな課題だ。提案の貸し付け奨学金制度は、返済免除の問題もあるが、ゼ

住民理解を進め 大門川活用も

ひ検討する時期だと思う。

原田 水道事業改革への町長の積極的取り組みを評価するが、まず現在の2本立での水道会計の統合を。その上で大門川水源など新たな水源確保、施設の老朽化対策に進んでほしい。

町長 二つの水道会計を変更して一本化したい。大門川活用はボタンの掛け違いを避ける。後は工事費用などを水道料にただ反映させず、一般会計でどう負担し



▲町のシンボル飯綱病院。コロナ禍であるが安定経営へ進みたい

て理解を得るかだ。

原田 SDGsは環境、人材確保など地方創生政策と大きくかわる。例えば人口増ではU・イターンによる人材確保には情報整備やデジタル化推進、転職後の働き場所（企業等）の誘致や事業所の紹介活動の拡大が一層求められる。

町長 景観条例を12月議会に提案したい。関係人口は広がりつつある。SDGsを絡めて目に見える形で総合的に進めれば、地方創生は開花するとの予感を持つ。

副町長 SDGsに対応している県は2030年度時の温室効果ガスを13年度比で60%削減する野心的削減目標を掲げている。

町も県を参考に町民、団体、企業など各分野で取り組み、身近なレジ袋削減や食育、健康問題など意識が浸透するよう心掛けたい。

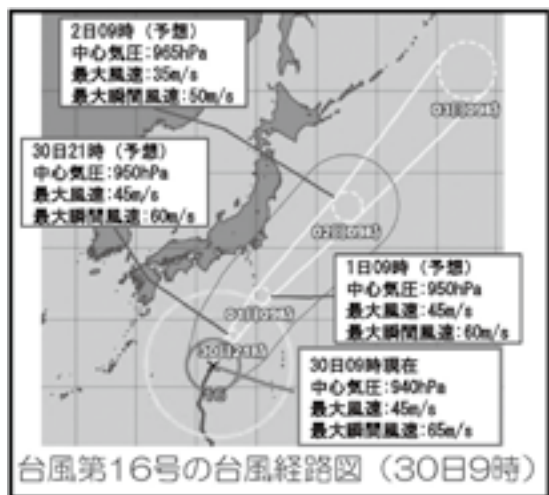
不慮の事故でのAED(自動体外式除細動器)使用は万全か



原田 幸長議員

総務課長

町内コンビニは設置を概ね了承



▲台風シーズンがやってくる。防災の準備を怠らないよう(長野地方気象台発表資料)

避難所の防災備蓄物資の拡充を

原田 感染症対策を含めた避難所の開設可能な最大箇所数は。

総務課長 指定避難所14箇所、福祉避難所11箇所。車中泊可能な場所5箇所。民間宿泊施設等の避難所としての貸し出しに、協力を求める協定等を締結していきたい。

原田 最大の避難所が設置された場合、非常用発電設備や簡易テント、備蓄物資の保管スペースの確保が必要だが。

一般質問

総務課長 非常用発電設備は2箇所設置済みで他の施設にも検討していく。簡易テント追加についても検討していく。備蓄物資の保管スペースは3棟設置する予定。

聴覚障がい者への情報伝達は

原田 避難時での聴覚障がい者への情報伝達の仕組みはできているか。

総務課長 飯綱町メール配信システムや、飯綱町防災公式ツイッターで登録者、利用者に配信をする。テレビサイネージ

(モニターを置いていろんな情報を映し出す)を活用した情報伝達ができるよう、障がい者、高齢者等に優しい情報伝達の仕組みを更に考えていく。

AED設置町内コンビニ二側異論なし

原田 AED設置についての町内コンビニ4箇所との協議状況は。

総務課長 町内コンビニ4店主から町の公費負担であれば、店内に設置することには概ね異論はないと確認している。但し、救急講習等の受講を進める中で設置に向け更に協議をしていく。

原田 AEDの使用はほとんどの場合が不慮の事故で、コンビニに設置されていれば、交通事故多発地点では概ねカバーできるが、その他の地点で設置されているAEDは、屋外で保管できる対策が必要だが。

総務課長 屋外設置は、命を守るための有効な方策であると認識している。AEDの更新時期等を考慮し、



▲屋外AED設置ができれば不慮の事故にも対応できる

検討していく。

原田 女性の傷病処置で、セクハラと訴えられかねないなどの理由で、AED使用をためらわずにできるリーフレットを作成し、配備することは。

総務課長 リーフレットを作成し配備することは、関係機関、救急関係者等と協議し前向きに進める。

コロナ禍

生産者・事業者等に継続的支援を

町長 順次、支援の方法を考えたい



石川 信雄議員

事業者の窮状を どう捉えているか

石川 今回の9月議会にも 商工振興費で1000万円の補正予算が計上されたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、宿泊・飲食業者等が苦境にあえいでいる。町長のお考えは。

町長 特に宿泊業者の売り上げの落ち込みは顕著である。飲食業者は応援チケットでだいぶ助けられたとも報告を受けている。それ以外にも国民健康保険の減免申請を鑑みても自由業者等の売り上げ減も相当厳しいようである。

石川 議会報モニターからも「宿泊・飲食事業者への適切な支援を」との声があった。それ以外の生産業者さんからも事業継続に厳しいとの声を聞いている。令和2年度の決算では、総額6900万円余の支援金関連予算が盛り込まれたが、決して潤沢ではない。町単事業で一人当たり10万円の特別定額給付金のような支援はできないか。

町長 実際に要望があった

のは食品衛生協会からだだが、イベントや会合の自粛の中、酒類の販売減やその他の小売りにおいても売り上げ減が生じているとのこと。今回の補正予算はそういった小売業の方々の持続化可能を対象としており、1件当たり上限30万円とした。条件の制約があるが申請をしていただければと思う。現在、30件ほどの事業者をリストアップしている。

石川 これから冬期に向かいインフルエンザ感染も憂慮され、場合によってはW感染も想定される。今後の事をどう考えておられるか。

町長 若い世代のワクチン接種を奨励し、速やかに進めていきたい。昨年、インフルエンザ感染者は殆どいかなかった。マスク着用が大変、効果的であったと感じている。感染予防に、引き続き徹底してまいりたい。

石川 事業者にコロナ禍での事業実態のヒアリングなどはされたか。

産業観光課長 食協の方々からの要望を受けて今回の食品製造者や小売業者への補正予算を計上した。但し

前年度売り上げ2割減対象の制約がある。併せて感染予防対策費用にも2/3を補助とした。

石川 その他の自由業者等は含まれるのか。

産業観光課長 含まれない。石川 今回は含まれないとあるが、今後の扱いは。

町長 他の事業については非課税世帯への支援も含めて検討する。



▲まだまだ続くコロナ対策と感染予防

窓口サービスのネットワーキング推進を

石川 三水庁舎を閉じて、不便を感じている町民もいる。マイナンバーカードの普及促進にも、郵便局やコンビニなどで戸籍等の窓口手続きができるようにオンライン化を進めてみては。

町長 オンラインで住民票

や諸証明を発行してもらうというサービスは、間もなく到来すると思う。窓口サービスも大事だが、他の福祉などの件も地域差がないようにすることが大切である。初期投資はともかく、年あたりのランニングコストが500万円かかる。関係の近隣町村と調整をした。

石川 情報分野の社会資本

でもあるので前向きに考えてほしい。

町長 長野広域管内の坂城町の首長さんからも提案があったが、周りの首長さんの反応はいま一つであったように感じている。しかしながら、DX「デジタル技術による(生活やビジネス)の変革」も視野に入れ色々と検討したい。



渡邊 千賀雄議員

盛り土規制・点検 今後は

町長 町自然環境保全条例で対応

過疎法対応で町ならではの考えは

渡邊 三水地域が過疎法の対象地域に指定され、過疎地域持続的発展計画(案)5年間の計画が示された。今後も町民からの提案や要望を反映させることは。

町長 反映させ、県とも協議を進める。

渡邊 新型コロナ対策としても①地域医療の拡充(飯綱病院支援策)②飲食業支援は給付金、交付金を考えるべきだ。

町長 ①支援していく。地



▲盛り土の調査点検が行われた黒川の原因地区造成地

一般質問

域になくはならない150床病院だ。②年末に向けて支援、検討する。

渡邊 水道施設整備を実施することは。

町長 上水道は対象外だ。全町問題として取り組む。

渡邊 原材料支給事業を拡充し、住民参加の地域づくりを図り、町単事業等の工事の早期着工・完成を図ることは。

町長 過疎法の適用にならない。

渡邊 図書館の充実を改めてお聞きしたい。

教育次長 飯綱中図書館の充実開放で対応したい。

盛り土規制 土石流点検 今後の対策は

渡邊 異常気象等により、いっどこで発生するかもしれない自然災害。自然災害を完全に防ぐことは困難だが、人災は防ぐことができるという。熱海市での土石流災害は、盛り土が原因とされ

ている。町内での盛り土の規制・点検と今後の対策は。

建設水道課長 自然環境保全条例で対応していく。

副町長 8月に7箇所現地調査、異常なし。

渡邊 盛土工法による廃棄物処理施設等は認められないと思うがどうか。

町長 芋川の処分場には歴史がある。住民・議会も反対、町としても必要なく賛成できない。

太陽光発電施設対応 万全か

渡邊 町内各地で発電施設の設置が進められているが、周辺との合意も義務付けてはどうか。

町長 自然環境保全条例で対応していく。景観条例もできる。不適地には許可しない。

補聴器購入補助制度 実施状況と今後は

渡邊 難聴者の生きがいづ

くり及び社会参加の促進を支援する補聴器購入補助制度は、導入後半年の新規事業だが、利用状況はどうか。

保健福祉課長 問い合わせ3件。利用者は0件。

渡邊 身体的な弱点を補う施策だ。対象者の所得と年齢制限を撤廃する考えはないか。制度を多くの町民に知らせていくことだ。

保健福祉課長 所得範囲の見直しは検討したい。現在18歳以上対象で、それ以下は支援制度がある。

▲住宅の近くでも進む「太陽光発電」設置



▲住宅の近くでも進む「太陽光発電」設置

東高原の道路の安全確保を

町長 安全対策は積極的に行う



伊藤 まゆみ議員



▲白線が消えている東高原への道路

伊藤 上村へ続く道路が、大変深い霧に覆われることが増えている。観光客を含め地元住民から「早急に安全確保のための対応を」との声がある。白線を引く等の対応を。

町長 3年間上村まで通ったので、承知している。改良にはお金がかかるが、安全対策は安くできる。積極的に取組めると思うので担当課と話し合い進めたい。
伊藤 全町の、白線がすすれたり、消えているところが散見する。パトロール時に注意して見て、順次整備してほしい。
町長 意見を尊重して進め

一般質問

たい。

生理の貧困に支援を

伊藤 今年3月神戸市に住む女性が声を上げ、全国的に広がり、支援を行う自治体も、増えてきている。町内と学校での取り組みはどうか。

保健福祉課長 町内では行っていない。

教育次長 小・中学校の養護教諭に確認したが、困っている児童・生徒はいないとのこと。実態調査を行っている自治体はある。

伊藤 奈良県大和郡山市では、担当職員の努力もあり、生理用品が必要な年代の女性の1/4に行き渡る補正予算が組まれた。SDGsの「ジェンダー平等」の観点から、取組むことが求められると考えるが。

町長 どのような所で、どうやって配付していけば良いか検討したい。

後期高齢者医療保険料 軽減の検討状況は

伊藤 令和元年9月の質問に、町長は、10年で平等割が5000円上がった。支

援を始めれば途中でやめるわけにはいかない。

支援はしたいが簡単に返事はできない。支援の仕方にもよるが、内部的に検討したいと答弁している。

どのような検討がされたのか。

町長 財政的に厳しい。国民保険を維持するための人気取りではだめだ。

18歳以上の学生への支援の検討状況は

伊藤 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、学生の生活が大変厳しくなっている。令和2年6月の質問に、町長は、町も気にしている形として積極的に考えたいと答弁した。どのような検討がされたのか。



▲地域で支える介護予防で健康寿命の延伸へ(史跡の見学…サロンたかおか)

町長 近隣の自治体の状況を調査し現金給付も考えたが、対象者の把握が難しい。具体化できずに来ている。町の奨学金制度も利用してほしい。

伊藤 SNSを利用して呼び掛けることもできる。受け取った人が拡散してくれる。まず一歩足を踏み出すことが大事だ。
町長 検討したい。

地方創生推進交付金

事業の効果をどう捉えるか

町長 今後の住民意見の組み入れが
大きな勝負



瀧野 良枝議員

世界に誇る力強い
産業形成事業

瀧野 三本松直売所建設にかかると事業評価・改善策は、

産業観光課長 ふるさと振興公社において、経営戦略

会議を設置。課題抽出や今後の経営展開への反映。今

後は生産者、地域住民が参画する仕組みを作る。

瀧野 加工品開発の販路確保は。

産業観光課長 ECサイトや直売施設、産業交流都市

での販売を行っている。**瀧野** りんごの時期以外に

ECサイトが注目される仕掛けが必要では。

町長 1次加工品として企業に販売するほか、イベン

ト等を通じて町のPRをしていくのが、現時点で考えられる策。

しごとへの創業・

交流拠点整備事業

自然の中の暮らし

魅力創造発信事業

瀧野 いびづなコネク

AST、WESTの事業評

価・改善策は。

企画課長 カンマッセイ

一般質問

づなで2週間に一度、定例会議を開催し、課題を協議。指定管理者の自己評価と、(仮称)管理運営協議会による2段階評価を実施予定。

地方創生拠点としての機能を果たし、利用料収入による運営コスト減少を目指す。

瀧野 跡地活用事業は、それまで学校が果たした地域での役割を意識し、地域住民を巻き込むことが重要。

町長 それが大事。それぞれの施設に地域の人が自由に使えるスペースを用意している。もう一歩進んだ連携を進めるために地域の皆さんがどういった事をやりたいか、地域の拠点になれる場所にしていきたい。狙ったことが芽を吹いてきた



▲地方創生推進交付金の効果は

実感はある。
もっと自分らしく輝く
i(アイ)ママ事業

瀧野 ワークセンター事業の事業評価・改善策は。

教育次長 登録者数は125名、これまでにテップ起こしを主体とした女性のワーキンググループが組織され、自ら仕事を受注し、自立している。

課題は、セミナーを受けるところなどで、まり、先に進めない方が多いこと。利用者の固定化もあり、センターを広く知ってもらう取組が必要。(仮称)飯綱町子育て世代支援施設運営委員会を設置し、

持続可能な施設運営を図る。**瀧野** お子さんの入園前までの期間限定

地方創生事業実施のためのガイドライン
(内閣府地方創生推進事務局)より

事業の実施	◇事業主体間の緊密なコミュニケーション ◇こまめな進捗と質の管理
事業の継続	◇安定した人材の確保 ◇地域の理解醸成を促す情報提供 ◇地域主体の更なる参加促進
事業の評価体制	◇外部組織・議会等による多角的検証 ◇KPI*が未達成の要因分析・課題の把握
改善への取組	◇事業改善・見直し方針の明確化 ◇事業実績の報告・次年度事業計画へ

*KPI…業績管理評価のための重要な指標

的な利用が多いことが原因では。キャリア形成できるセミナーの開催など、質の問題と、利用者同士の横の繋がりを充実させる取組が必要ではないか。
教育次長 専門的なスキルを高めるセミナー、個人の働きに合ったセミナーも同時に進めたい。

総合計画等に係る検証は

町長 需要にあった対策を目指す



清水 均議員

**日本一のりんごの町
を目指して**

清水 「世界中のりんごの栽培を目指す」とあるが現状、課題と具体策は。

町長 ブラムリー（英国）等が注目されている。町では50種類以上栽培され、内20種類近くが市場で取引されている。需要にあたり

らんの栽培を目指している。**産業観光課長** 特に英国りんごは徐々に人気が出てきているため、今年から首都圏でりんごフェアを開催、新品種としてPRを予定。

清水 りんごの歴史や特性の研究の成果は。**産業観光課長** 県立大学、信州大学、県技術総合センター等に業務委託をし、様々な角度から調査分析研究をしている。気象変動により現状維持が可能かは大きな課題で、その条件に併せて栽培技術等を進化させていくことが重要である。

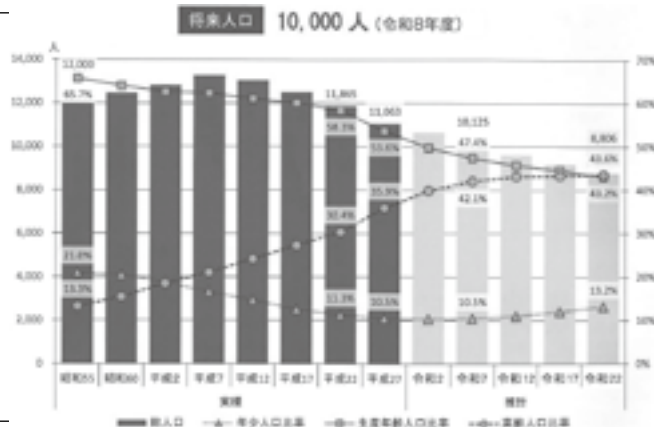
日本一女性が住みたくなる町を目指して

町長 各地区の区や組長に女性が就任したことがない。

前例をつくっていききたい。

町の将来人口は

清水 令和22年の人口推計値を8800人としているが、人口増対策への具体策と裏付け数値は。



町長 住みよい環境、住む場所、家賃の補助、家を創るため等への補助、働く場の確保、通学・通勤・通院等の利便性、支援等を総合的に実施して、一万人以上の人口を確保したい。**企画課長** 数値では、令和2年度の0〜9歳までの転

入増加数は29人で、県下の市町村では8位、町村では軽井沢に続いて第2位。30歳代の転入増加数は35人で県下の市町村では8位、町村では軽井沢町、御代田町に続いて第3位。

町内の婚活状況は

保健福祉課長 信濃町、飯綱町で今年もオンラインで行う予定である。町の相談所は、県で進めているマッチングシステムを活用し、県内全域の結婚相談所の登録者データを検索できるようになり、相談員の経験を活かし、出会いの可能性を広めている。令和4年1月から自分のスマホで検索できるシステムを予定している。

いじめや不登校問題の取り組みは

教育次長 学校でも研修等を通じ教職員のスキルアップに努めている。不登校は、昨年度小学校4件、中学校8件でスクールカウンセラー1等による相談、支援などを行い学校等と関係を途切れないようにしている。

ICTを活用した最先端農業の研究成果は

産業観光課長 気象センサー、カメラ、AIなどで分析した最先端農業の研究をすすめている。

スキー場及び、観光施設の入込み状況は

産業観光課長 令和2年度は3万3千人程、前年比18%程、飯綱東高原全体で10万2千人強で前年比48・5%、コロナの影響が大である。

他の質問事項

- 1 間伐材や農業集落排水汚泥の利活用の課題と成果は
- 2 耕作放棄地の防止問題
- 3 牟礼長野間のバス利用状況と財政支援は。
- 4 若者住宅前の空地に自転車道を作る計画は。
- 5 キッチンカーの稼働日数は。



荒川 詔夫議員

凍霜害などによる 果樹被害への支援は

町長 ふるさと納税を活用したい

町政執行を顧みては

荒川 町政執行を通しての費用対効果等の思いは。

町長 町は今の財産を維持存続と住民生活を守り、希望の持てる事業を実施することが基本である。

荒川 町農業の在り方は、生産基盤の底上げ強化に向けて、大胆な施策とスピード感を持った財政支出が不可欠と思うが。

町長 集団化・法人化を今後進めたい。AIなどの最先端技術農業をどう展開するか。その際の個人負担に関わる、受益者負担を含めて町全体の財産という考えで進めたい。

荒川 今期の気象異変による「りんご・梨・サクランボ」など遅霜による結実不良と品質低下、その後、りんごの褐斑病が多発している。支援策の有無は。

町長 出荷状況を見て被害状況を把握したい。JAでは、評価基準を下げるようである。町はJAと「ふるさと納税」をひと工夫し、支援を行いたい。(※後日、支援策2000万円計上)



▲議員によるりんご等の凍霜害、褐斑病被害状況視察(芋川地区)

荒川 商店街の活性は町の活性化に連動するが。

町長 町の活性には商工業が元気でなければ活性化にならない。駅前人流も出てきたが、本町商店街は深刻であり、深沢商店街は更に厳しい。

荒川 深沢商店街の現状と将来を鑑み、空地に共同駐車場確保などの次善策は。

町長 駐車場維持管理を含めて確保などは、地元と相談をしたい。

荒川 人口減少と少子高齢化を踏まえ、自治組織の今後の在り方は。

町長 今後は何らか対策を講じる必要がある。町の集落支援事業の活用に努めてほしい。

荒川 昨今、地域力低下を肌で感じている。リーダー格など人材育成と農業分野事業では、「人・農地プラン」の実質化や受益者負担ゼロの農地整備は、地域住民参加型事業のため、実施に向けて所見は。

町長 住民の絆の希薄化はつらい一面がある。格差社会の是正も大事であると思う。「人・農地プラン」や受益者負担ゼロの「土地改良事業」等を導入したい。

荒川 今期への議会対応如何と、今後に向けての思いは。

町長 議会は総ての事業のスタートであり、これ程権威のある組織はない。議会における信頼度・重要度は住民福祉に繋がるため、今後も対応をしたい。

選挙関係について

荒川 今年4月に行われた県下の某町議会議員は、当選時の祝勝会席上、会費を徴することなく出席者に飲食を振る舞った等により、書類送検され、辞職に至った。このため、当町において町長・町議会議員改選期に当たり、町民に周知徹底を図りたいがどうか。

選挙管理委員長 広報8月号では公選法改正に伴う記事などを掲載した。10月号には身近な選挙のため、違反のない明るいクリーンな選挙を目指して、広報活動等を踏まえ、周知に努めた。



▲生産基盤強化に向けた受益者負担ゼロの農地整備事業(長野市山新田地区)

町民が求める必要な施策の実施を 町長に予算・政策要望書提出

10月8日提出



町民が求める必要な施策の実施を求め、議会報モニターの皆さんからの意見や要望なども含め、各常任委員会でも検討後、議会全員協議会で確認し、正副議長、2常任委員長が令和4年度に対する予算・政策要望書（6テーマ・72項目）を町長に提出した。

要望の内容

合併から16年が過ぎ、将来にわたって持続可能な行財政運営を図るため、これまで以上に行財政改革に取り組み、健全な財政運営を

行うことが求められる。

効率的で時代に即した予算編成を求めるとともに、町民が求める施策の実行を要望する。（抜粋）

1 環境づくり

○田園・里山地域における伝統的な生活と文化を次代へ引き継ぐこと。

○広葉樹を主とした、里山づくり森づくりに対する町民の意識を喚起し、苗づくりや植樹の手入れ等を促進するための指導、及び支援をより積極的に行うこと。

2 生活づくり

○水道事業は、町民のライフラインを保障することから最重要事業として力を注ぐ必要がある。給水人口、給水収益が減少するなかで、水道事業が安定して運営できるように、長期的な視点に立った施設の更新、整備を進め、効率的な事業運営に努めること。また、水道会計を一本化し将来を見据えた適正な水道料金、安全で美味しい水の供給に向けての対策を早期に講ず

ること。

3 産業づくり

○荒廃地対策、農業所得増加対策として、地域奨励作物の品目を拡大すること。大学等と連携し飯綱町の地形気象を生かした新たな農作物の研究を行い商品化につなげること。

○町の発注する公共事業に当たっては、小規模事業者登録制度の周知を図り、可能な限り地元業者が受注の機会を得られる施策を引き続き講じること。

○都市住民との交流事業を多様な角度から検討し、農家民泊受け入れ事業をバックアップするなど、実効性のある施策を推進すること。

4 生きがいづくり

○地域医療を支える飯綱病院においては、医師、看護師、薬剤師を確保し、更なる医療体制の構築に努めること。

○車などの移動手段を持たない高齢者を中心に生じている「買い物弱者」対策について、移動購買車の導入を図るなど事業者等と連携して取り組むこ

と。現行の福祉有償運送サービスを積極的に周知すること。

5 人づくり

○歴史ふれあい館、アップルミュージアムは、地域住民との連携による企画など、地域に根差した事業展開を継続すること。

6 まちづくり

○住民が地域を知り、課題を見出し、話し合いの上で、住民と町が「共働」で課題を解決し、集落の活性化を図ること。

○町は行政の審議会、委員会等への女性登用率の目標を30%としている。早期に目標を達成できるように努力すること。また、男女共同参画の研修会などに、多くの町民が参加できるように、意識の醸成を図ること。

* 飯綱町の造語で、本来は「協働」と表記しますが、町づくりは労働ではなく「ともに動く」という意味からこの用語を用いています。

全文はホームページ参照

予算政策要望

議会だより第63号(6月定例会)

モニターアンケートにお答えします

妊娠・出産・育児までのすべてのサポートを

Q 飯綱町子育て世代支援施設がオープンし、町外者の利用も可能とありました。コロナの中出かけられずに平日一人で乳幼児を抱え育てているママには、相談ができたり交流ができたりとうれしいと思います。出生人口が増えるよう妊娠・出産・育児まですべてサポートできる体制・補助をお願いしたい。

A 新しい飯綱町子育て世代支援施設では、就園前の幼児と保護者を対象に、遊びの場、交流の場として、「わくわく子育て講座」「読み聞かせ」などのイベントの開催や子どもの成長段階に応じた発達・発育・育児・悩みごとなどの相談・助言を行っています。また、この施設は母子保健としての機能も備えており、妊娠期のおっぱい教室、誕生後の乳児検診、離乳食教室、健康相談等も実施しており、切れ目のない子育て支援体制が図られています。

子育てに関する補助としては「子育て応援祝い事業」を実施しており、卒園・卒業祝い金や誕生祝金の補助等を行っております。なお、誕生祝金については、本年度から事業が拡充され第1子から20万円の補助がされています。



婦人科検診で再検査依頼されたが、病院紹介のフォローを

Q 病院には婦人科がなく、検診するも異常が見つかった場合、文書で再検査の依頼と診断書の提出を求められたが、町内に医院がないので非常に困った。この場合、面談をして病院の紹介のフォローをして、不安なく再検査ができるよう配慮してほしい。

A 長野県医師会のホームページには、がん検診後の精密検査医療機関名が掲載されている。しかし全てのがん検診が対象となっているわけではなく、子宮頸がん検診後の精密検査医療機関名は掲載されていない。今後、県の担当に受診可能な医療機関の周知ができる情報の確認を行い、精密検査対象となった方へご案内できるようにしていきたい。なお、検診後の相談は随時受け付けているので、困ったら健康管理センターへ相談していただきたい。



山林や耕作放棄地への太陽光発電施設建設の規制を

Q 山林や耕作放棄地への太陽光発電施設の建設を規制する条例の制定をお願いします。太陽光発電システムは、本来、ビルの屋上等開発し尽くされた場所へ追加する施設であるべきです。手軽で安価だからと、山林や耕作放棄地に設置して良いとは思えません。特に、傾斜地の上部や山地林野などへの設置計画は、防災・水質や動植物への影響・景観維持などのために、厳しくチェックされてしかるべきものと思います。

A 太陽光発電施設は国の推進する脱炭素社会推進という面もありますが、現在、施設を起因とする土砂崩落等の問題が全国で多発している状況もあり、町当局としても憂慮しているところです。規制としては自然環境保全条例により開発行為として事前協議を課し、地元意見への対応を求めたうえでの行為許可の流れとなります。事業者の権利もあり、理由なく不許可とは対応できませんが、これから町で景観に関する条例を12月議会提案で進めており、景観の面でも規制ができるよう策定中です。また、太陽光発電施設の具体的許可基準を盛り込んだ条例の策定も検討しています。



町の公用車等の運行管理は

Q 公用車、社会福祉協議会等、飯綱町でも白ナンバー車を数十台保有していると思うが、台数により、人を送迎するなら旅客運行管理者、貨物なら貨物運行管理者を数人おかなければならないが、飯綱町は運行前、運行後の点呼、運行管理をどのようにしているか。

A 自動車の安全運転と運行に必要な指導や管理業務を行うため、安全運転管理者1名、副安全運転管理者4名を選任しています。また、安全な運転を確保するため令和2年度において、安全運転講習会及び安全運転適性検査を実施しています。公用車の運行管理については、運行日誌による管理を行っています。



第5次 政策サポーター会議

政策提言

テーマ

1 飯綱町の輝く人口増対策 2 子どもたちの未来は飯綱町の未来

*詳細はHPIに公開

テーマ① 「飯綱町の輝く人口増対策」

6名の住民の方々に政策サポーターを依頼し、住民と議会の協働作業により自由な議論の中から2回の会議と、コロナ禍で集まることにより感染拡大にならないよう、2回の書面による提案を受けて検討重ねてまとめて導き出した提言である。

サポーターと議員の生の声であり、真摯に受け止めてこれからの飯綱町の施策に活かしてほしい。

空き家、空き別荘を活用した人口増対策

1 公費で改修リフォームし、25年住み続ければ敷地ごと無償で譲り受けられる対策。

2 家賃は、長野市内より安くし、通勤費が賄える仕組み等、長野郊外の立地を生かしたPRを展開してほしい。

3 新規就農移住者には、納屋付き空き家を提供し、米など1年分支給。引越費用補助金など移住者のニーズにあった提供を。

4 ポツンの移住者には、小さな地域共同体ができる土地分譲を。

5 住民は移住者を温かく受け入れ、定住できるよう区長、組長会議に提案し協力体制を構築してほしい。

空き店舗を活用した人口増対策

1階を共同店舗として、2階をアパートやシェアハウスの居住施設にして提供するような町づくりを検討してほしい。

若者が定住できる人口増対策
大型ショッピングモールを企業誘致し、長野市からも利用者が訪れるような総合店舗にし、町の独自性ある施策を展開してほしい。

特化したまちづくり

1 青地農地を白地に「特区」として農振除外（農地の除外手続き）し開発可能にし、移住促進や企業誘致を展開してほしい。

2 国は2050年にはゼロカーボンを目指している。当町もCO₂削減に向けたエネルギー施策を進め、安心して生活できる町、有酸素運動で健康を回復し、楽しめる町、呼吸系疾患患者

の住みやすい町のPRをしてほしい。

サポーター政策提言

テーマ② 「子どもたちの未来は飯綱町の未来」

町では人口減、少子化が大きな課題となっている。子育て世代への経済的支援や基金を創設し、「子ども子育て未来室」を設置し、「子育てするなら飯綱町」と呼ばれる町を目指している。

（各項目ごとに、提言として家庭でできること、地域でできること、町が行うことを付記してある）

1 保育人材の確保と、園児にとって安全で快適な施設

2 保護者や児童の個々のニーズに対応した利用しやすい学童保育施設

3 休日にも預けられる保育施設と地域での子育てを支え合う

4 妊産婦が安心して過ごせる町

5 町全体で子の育ちをお祝いする

6 保育料の軽減やひとり親家庭の家賃補助等を拡充する

7 児童虐待の未然防止が図られる町

誰もが安心して教育を受けられる環境の整備

1 全ての人が、等しくその能力に応じて教育を受けられる環境

2 いじめや不登校等のない町

3 発達特性や多様性に配慮した学びの場の充実

4 全ての児童・生徒が安心して食べられる美味しい学校給食

5 文化、伝統・行事食、郷土食を継承する

町内外への子育てに関する情報発信の充実

誰でも欲しい時に欲しい情報が得られる

新しい町づくりへ 私の提案

第24回

Reuse×Iizuna

～学用品を次の方へバトンタッチ～



大沢 晴美さん
(飯綱町学用品リユース実行委員会)

私は「飯綱町子どもを支える親の会 よつばの会」を運営しています。発達障害や不登校など困り感を抱えている子どもを育てている親たちの会です。会の中で、「新しく購入しても子どもがその活動にのれず、新品のまま授業が終わってしまった」「購入はしたけれど不登校で未使用」など学用品について話題になり、ならば次の方に使ってもらえれば！との思いで、「飯綱町学用品リユース実行委員会」を立ち上げました。町内の小学校、町民会館、メーラプラザにリユースボックスを置かせて頂き、使わなくなった学用品を入れて頂いています。よつばの会やてんぐカフェさんとコラボし、子育てについて語り合いながら、集まった学用品の手入れをしています。リユース活動がこの飯綱町に根付き、次の世代の子どもたちに「モノの大切さ」を伝えていきたいです。

未来のために考えること



松橋 湧太郎さん
(普光寺)

飯綱町が好きです。自然が豊か、人々も優しく親切で安全に暮らせます。しかし若い世代、移住を考えている方には不満があるように感じます。私が考える町づくりを提案します。

① 商業施設の充実

飯綱町在住や移住を考えている方の意見として買い物が大変ということを耳にします。買い物は必ずします。商業施設の充実が町の発展に寄与すると考えます。

② 高齢者に優しい町づくり

飯綱町も高齢化問題があり、人々の多くは高齢者です。良い町にし飯綱町の功労者の方へ恩返しをしましょう。具体的には福祉施設、移動手段の充実、利用額の低減です。若い世代も歳をとります。高齢者に優しい町づくりは、将来的に若い世代のためにもなります。

以上、私が考える新しい町づくりの提案です。

行政と住民の「声も見える化」で地域活性化を



川口 悦子さん
(小玉)

私の住む地区も高齢化率55%と聞く中で、独居、一人暮らしが増えています。少子高齢化の中で、小中学生は12人程です。こうした中で、行政としての地区へのサポートの在り方の検討について、定期的に地区との懇談会を設け、住民の積極的な参加を求め、「声の見える化」を図ってはどうか。

とりわけ20～30代の現役世代の住環境整備への助成や子育て支援センターを生かした「学習支援」についても教員経験者にも一定の賃金を払い、その任に就いてもらってはどうか。

学童保育も空き家を活用して増やせば、空き家対策にもつながると思います。



写真上:屋根裏には太い梁が
写真下:室内の様子

飯綱町には国登録1件、
県指定3件、町指定29
件、計33件の指定文化
財があります。

特別展に先駆け5月か
ら毎月2回、指定文化財
すべてを紹介するミニ講
座が開催されています。

8月28日は茶室「法母
庵」の紹介があり、屋根
裏には雪の重みに耐える
工夫がされているなど、
画像も交え普段は聞けな
い内容もあり、歴史ファン
にとっては大変興味深い
講座となっています。

町の伝統・文化

連続 文化財講座

国登録有形文化財『法母庵』
三水第一小学校茶室
(正式登録名称)

特別展は
9・26～11・28まで

歴史ふれあい館
町指定文化財すべて展示

■ 12月定例会予定

11月29日(月)～12月15日(水)
(17日間)

一般質問

12月1日(水)・12月2日(木)

常任委員会

12月3日(金)・12月6日(月)



議会白書もご覧ください

平成27年度から議会白書を発行していま
す。

飯綱町のホームページから飯綱町議会情
報に入れます。

紙媒体で必要な方は、議会事務局へ連絡
してください。

議 会 だ よ り モ ニ タ ー 生 の 声 25

景観保全の

ルールづくりを



くが ひとし
陸 齊さん
(普光寺)

素晴らしい景色にひと目
惚れして移住してから23年
が経ちました。一住民とし
ていつまでもこの風景が保
たれるようお手伝いができ
ないか、といつも思ってい

ます。景観の維持管理には、
多くの住民が心身ともに安
心できるための規範と実行
力が重要だと思います。特
に伝統的な農村景観の素晴
らしさを維持するためには、
自然環境への住民の働きか
け、道や水路の普請、草刈、
倒木処理、外来種除去等と
ともに、外部からの開発規
制、山林や田畑への太陽光
発電施設建設等の制約が必
要だと感じます。地権者の
了解、合意形成、担い手の
育成、費用の捻出など課題
はありますが、少しずつで
も実現可能なルールづくり
が進めば良いと思います。

編集後記

今号が配布時には、飯綱町議会の
顔、かれも一新されていること
と思います。これまでの2年間、編
集委員に名を連ね議会報を発行し
てまいりました。町民の方々はは
じめ、議会報モニターほか、関係
された皆さまに厚く御礼申し上げ
ます。議会をこれからも宜しくお
願い致します。
(石)

編集委員

憲明	大川	人長	大川
信雄	石川	委員長	石川
幸長	原田	副委員長	原田
和子	中島	委員	中島
良枝	瀧野	委員	瀧野
まゆみ	伊藤	委員	伊藤
千賀雄	渡邊	委員	渡邊